



2018年12月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2018年4月27日

上場取引所 東

上場会社名 花王株式会社

コード番号 4452 URL <http://www.kao.com/jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 澤田 道隆

問合せ先責任者 (役職名) 会計財務部門 管理部長 (氏名) 牧野 秀生 TEL 03-3660-7111

四半期報告書提出予定日 2018年5月15日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有（証券アナリスト、機関投資家向け）

（百万円未満四捨五入）

1. 2018年12月期第1四半期の連結業績（2018年1月1日～2018年3月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		税引前四半期利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2018年12月期第1四半期	350,645	1.6	39,445	2.2	38,663	1.7	28,156	14.3	27,774	14.9	14,143	△25.1
2017年12月期第1四半期	345,179	3.0	38,609	12.1	38,013	15.4	24,624	17.0	24,169	16.2	18,891	234.4

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2018年12月期第1四半期	56.36	56.33
2017年12月期第1四半期	49.03	48.99

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2018年12月期第1四半期	1,357,566	805,924	793,129	58.4	1,609.36
2017年12月期	1,427,375	819,364	806,381	56.5	1,636.41

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2017年12月期	-	54.00	-	56.00	110.00
2018年12月期	-	-	-	-	-
2018年12月期（予想）	-	60.00	-	60.00	120.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2018年12月期の連結業績予想（2018年1月1日～2018年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,540,000	3.4	215,000	5.0	215,000	5.2	152,000	3.4	308.43

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有

新規 1社（社名） 、除外 1社（社名）花王カスタマーマーケティング(株)

(注) 詳細は、四半期決算短信【添付資料】14ページの「2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記（7）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご参照ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

① IFRSにより要求される会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2018年12月期1Q	495,000,000株	2017年12月期	495,000,000株
② 期末自己株式数	2018年12月期1Q	2,179,162株	2017年12月期	2,225,561株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2018年12月期1Q	492,801,175株	2017年12月期1Q	492,915,858株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】4ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報（2）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する概要	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書	7
(3) 要約四半期連結包括利益計算書	8
(4) 要約四半期連結持分変動計算書	9
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(7) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	14
(8) 継続企業の前提に関する注記	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する概要

注：以下、() 付きの数字はマイナス表示であり、「実質」とは為替変動の影響を除く増減率を表示しています。

	売上高 (億円)	営業利益 (億円)	営業利益率 (%)	税引前 四半期 利益 (億円)	四半期 利益 (億円)	親会社の 所有者に帰属する 四半期利益 (億円)	基本的 1株当たり 四半期利益 (円)
2018年12月期 第1四半期	3,506	394	11.2	387	282	278	56.36
2017年12月期 第1四半期	3,452	386	11.2	380	246	242	49.03
増減率	1.6% 実質0.9%	2.2%	-	1.7%	14.3%	14.9%	15.0%

当社グループの主要市場である日本のトイレタリー（化粧品を除くコンシューマープロダクト）及び化粧品市場は、小売店の販売実績や消費者購入調査データによると、2018年1月から3月において、堅調に推移しました。特にEコマースチャンネルが伸び、デパートチャンネルを中心とした化粧品のインバウンド需要は大きく伸長しました。またトイレタリー商品の平均単価は、前年同期に対して1ポイント上昇しました。

売上高は、前年同期に対して1.6%増の3,506億円（実質0.9%増）となりました。営業利益は394億円（対前年同期8億円増）となり、税引前四半期利益は387億円（対前年同期6億円増）となりました。四半期利益は282億円（対前年同期35億円増）となりました。全体的には激しい市場競争の中、想定通りに進捗しました。

当第1四半期の海外連結子会社等の財務諸表項目（収益及び費用）の主な為替の換算レートは、次のとおりです。

	第1四半期 1-3月
米ドル	108.44円[113.71円]
ユーロ	133.23円[121.13円]
中国元	17.04円[16.50円]

注：[]内は前年同期の換算レート

〔セグメント別の概況〕

当第1四半期より以下の変更を行っています（参照P.12（6）要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 1.セグメント情報）。

- ビューティケア事業を化粧品事業とスキンケア・ヘアケア事業に区分し、従来4区分としていた報告セグメントを5区分に変更しています。
- 従来、スキンケア・ヘアケア製品に分類していた乾燥性敏感肌ケア「キュレル」を化粧品事業に、ヒューマンヘルスケア事業に分類していたメンズプロダクト「サクセス」をスキンケア・ヘアケア事業に組み入れたことにより、前年同期の売上高及び営業利益を組み替えて表示しています。
- 日本のコンシューマープロダクト事業の販売組織を再編したため、前年同期の営業利益を組み替えて表示しています。

セグメントの業績

	売上高				営業利益				増減 (億円)
	第1四半期		増減率		第1四半期				
	2017年 12月期 (億円)	2018年 12月期 (億円)	(%)	実質 (%)	2017年 12月期		2018年 12月期		
					(億円)	利益率 (%)	(億円)	利益率 (%)	
化粧品事業	584	606	3.6	3.0	(23)	(4.0)	8	1.3	31
スキンケア・ヘアケア事業	771	794	3.0	2.8	105	13.7	91	11.5	(14)
ヒューマンヘルスケア事業	716	695	(3.0)	(3.5)	105	14.7	109	15.7	4
ファブリック&ホームケア事業	696	698	0.2	0.1	120	17.2	114	16.3	(6)
コンシューマープロダクツ事業計	2,768	2,792	0.9	0.5	307	11.1	322	11.5	16
ケミカル事業	766	797	4.0	2.3	80	10.4	73	9.2	(7)
小計	3,534	3,589	1.6	0.9	386	-	395	-	9
セグメント間消去又は調整	(82)	(83)	-	-	(0)	-	(1)	-	(1)
合計	3,452	3,506	1.6	0.9	386	11.2	394	11.2	8

販売実績

(億円、増減率%)

第1四半期		日本	アジア	米州	欧州	合計
化粧品事業	2017年	476	58	14	37	584
	2018年	468	81	14	42	606
	増減率	(1.7)	40.8	1.4	15.1	3.6
	実質	(1.7)	38.6	6.3	6.2	3.0
スキンケア・ヘアケア事業	2017年	420	68	177	106	771
	2018年	437	71	177	110	794
	増減率	4.0	3.5	0.1	4.0	3.0
	実質	4.0	3.2	4.7	(5.1)	2.8
ヒューマンヘルスケア事業	2017年	428	288	-	-	716
	2018年	414	280	0	-	695
	増減率	(3.3)	(2.7)	-	-	(3.0)
	実質	(3.3)	(3.8)	-	-	(3.5)
ファブリック&ホームケア事業	2017年	597	94	5	-	696
	2018年	594	99	5	-	698
	増減率	(0.5)	5.3	(2.2)	-	0.2
	実質	(0.5)	4.3	(1.3)	-	0.1
コンシューマープロダクツ事業	2017年	1,922	508	196	142	2,768
	2018年	1,913	531	196	152	2,792
	増減率	(0.4)	4.5	0.2	6.9	0.9
	実質	(0.4)	3.4	4.7	(2.2)	0.5
ケミカル事業	2017年	296	176	135	160	766
	2018年	295	180	144	178	797
	増減率	(0.3)	2.6	7.1	11.0	4.0
	実質	(0.3)	1.9	10.5	0.9	2.3
セグメント間売上高の消去	2017年	(70)	(8)	(0)	(4)	(82)
	2018年	(70)	(8)	(0)	(4)	(83)
売上高	2017年	2,147	676	330	299	3,452
	2018年	2,138	703	340	326	3,506
	増減率	(0.4)	4.1	3.0	8.9	1.6
	実質	(0.4)	3.0	7.1	(0.7)	0.9

注：コンシューマープロダクツ事業は、外部顧客への売上高を記載しており、ケミカル事業では、コンシューマープロダクツ事業に対する売上高を含めています。地域別の売上高は、販売元の所在地に基づき分類しています。

売上高に占める海外に所在する顧客への売上高の割合は、前年同期の40.7%から41.8%となりました。

コンシューマープロダクツ事業

売上高は、前年同期に対して0.9%増の2,792億円（実質0.5%増）となりました。

日本では、消費者の購買行動や価値観の変化に対応したマーケティング活動に取り組んだほか、提案型販売活動やEコマース等の成長著しい販売チャネルの強化も行いました。しかし、新製品・改良品発売の前年との時期ずれ等の影響があり、売上高は、前年同期に対して0.4%減の1,913億円となりました。

アジアでは順調に伸長し、売上高は4.5%増の531億円（実質3.4%増）となりました。

米州の売上高は、0.2%増の196億円（実質4.7%増）となり、欧州の売上高は、6.9%増の152億円（実質2.2%減）となりました。

営業利益は、322億円（対前年同期16億円増）となりました。

当社は、【化粧品事業】、【スキンケア・ヘアケア事業】、【ヒューマンヘルスケア事業】、【ファブリック&ホームケア事業】を総称して、コンシューマープロダクツ事業としております。

【化粧品事業】

売上高は、前年同期に対し3.6%増の606億円（実質3.0%増）となりました。

デパートチャネルで展開している「SUQUU」や「エストザローション」、及び当第1四半期より新たに組み入れた乾燥性敏感肌ケア「キュレル」の売り上げは、昨年に引き続き好調に推移しました。また、中国を中心にアジアの売り上げは、さらに大きく伸長しました。課題の日本の中価格帯及び高価格帯化粧品については、新体制の下、今後、構造改革を本格的に進めていきます。

営業利益は、好調なブランドやアジア事業の増収効果等により、8億円（対前年同期31億円増）となりました。

【スキンケア・ヘアケア事業】

売上高は、前年同期に対し3.0%増の794億円（実質2.8%増）となりました。

スキンケア製品では、「ビオレ」が日本、アジアで順調に売り上げを伸ばしましたが、米州では競合品の激しい攻勢を受けました。

ヘアケア製品は、欧州で引き続き競争激化の影響を受け、売り上げは前年同期を下回りました。2018年1月に、ヘアサロン向けブランド「Oribe（オリベ）」を所有するOribe Hair Care, LLC（米国）の買収を完了し、連結子会社になりました。

営業利益は、欧米での競争激化により91億円（対前年同期14億円減）となりました。

【ヒューマンヘルスケア事業】

売上高は、前年同期に対して3.0%減の695億円（実質3.5%減）となりました。

ベビー用紙おむつ「メリーズ」は、中国で前年同期に販売構造改革に伴う初期配荷があったこと等により売り上げは減少しましたが、インドネシアでは、中間所得層向けの現地生産品が順調に売り上げを伸ばしています。

生理用品「ロリエ」は、高付加価値製品が好調に推移し、売り上げを伸ばしました。

入浴剤「バブ」は、現代の生活にあった新しい価値提案を訴求するとともに、店頭での展開を強化したことで、売り上げは好調に推移しました。蒸気の温熱シート「めぐりズム」は、順調に売り上げを伸ばしました。

営業利益は、生理用品の増収効果等で、109億円（対前年同期4億円増）となりました。

【ファブリック&ホームケア事業】

売上高は、前年同期に対して0.2%増の698億円（実質0.1%増）となりました。

ファブリックケア製品の売り上げは、厳しい競争環境の中、前年並みに推移しましたが、ホームケア製品の売り上げは、日本及びアジアで堅調に伸長しました。

営業利益は、原材料価格上昇や有形固定資産の除却損の影響等により、114億円（対前年同期6億円減）となりました。

ケミカル事業

売上高は、前年同期に対して4.0%増の797億円（実質2.3%増）となりました。

油脂製品では、海外での需要が堅調なこと等により売り上げは伸長しました。機能材料製品では、日本、東南アジアのインフラ関連分野の市況が回復していることもあり、売り上げを伸ばしました。スペシャルティケミカルズ製品では、トナー・トナーバインダーは顧客の需要減の影響を受けたものの、昨年4月から連結子会社となった欧州のインク事業会社の貢献により売り上げは伸長しました。

営業利益は、原料価格の変動に伴う販売価格改定の影響等により、73億円（対前年同期7億円減）となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当年度は2020年度までの4か年にわたる花王グループ中期経営計画「K20」の2年目にあたります。成長ドライバーの事業をさらに強化し、課題事業についても立て直しを確実に進めることで目標の達成を目指していきます。

なお、2018年2月1日に公表した連結業績予想は変更していません。

連結業績予想に用いた主な為替の換算レートは、110円/米ドル、135円/ユーロ、17.0円/中国元です。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

	前連結会計年度 (2017年12月31日)	当第1四半期 連結会計期間 (2018年3月31日)	増減
	百万円	百万円	百万円
資産			
流動資産			
現金及び現金同等物	343,076	245,148	(97,928)
営業債権及びその他の債権	216,507	200,888	(15,619)
棚卸資産	183,921	190,024	6,103
その他の金融資産	14,914	15,926	1,012
未収法人所得税	2,653	4,653	2,000
その他の流動資産	28,162	23,734	(4,428)
小計	789,233	680,373	(108,860)
売却目的で保有する非流動資産	147	147	-
流動資産合計	789,380	680,520	(108,860)
非流動資産			
有形固定資産	395,800	398,837	3,037
のれん	138,735	161,257	22,522
無形資産	16,829	33,984	17,155
持分法で会計処理されている投資	7,682	6,004	(1,678)
その他の金融資産	27,345	27,106	(239)
繰延税金資産	40,918	40,534	(384)
その他の非流動資産	10,686	9,324	(1,362)
非流動資産合計	637,995	677,046	39,051
資産合計	1,427,375	1,357,566	(69,809)

	前連結会計年度 (2017年12月31日)	当第1四半期 連結会計期間 (2018年3月31日)	増減
	百万円	百万円	百万円
負債及び資本			
負債			
流動負債			
営業債務及びその他の債務	224,893	204,956	(19,937)
社債及び借入金	25,262	65,332	40,070
その他の金融負債	7,739	4,633	(3,106)
未払法人所得税等	34,255	14,119	(20,136)
引当金	4,822	4,047	(775)
契約負債等	17,296	19,464	2,168
その他の流動負債	107,404	93,597	(13,807)
流動負債合計	421,671	406,148	(15,523)
非流動負債			
社債及び借入金	95,322	55,306	(40,016)
その他の金融負債	10,091	10,053	(38)
退職給付に係る負債	64,694	63,769	(925)
引当金	10,617	10,665	48
繰延税金負債	435	677	242
その他の非流動負債	5,181	5,024	(157)
非流動負債合計	186,340	145,494	(40,846)
負債合計	608,011	551,642	(56,369)
資本			
資本金	85,424	85,424	-
資本剰余金	107,980	108,071	91
自己株式	(9,593)	(9,347)	246
その他の資本の構成要素	(12,315)	(25,932)	(13,617)
利益剰余金	634,885	634,913	28
親会社の所有者に帰属する持分合計	806,381	793,129	(13,252)
非支配持分	12,983	12,795	(188)
資本合計	819,364	805,924	(13,440)
負債及び資本合計	1,427,375	1,357,566	(69,809)

(2) 要約四半期連結損益計算書

	注記	前第1四半期	当第1四半期	増減
		連結累計期間 (自 2017年1月1日 至 2017年3月31日)	連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年3月31日)	
		百万円	百万円	百万円
売上高	1	345,179	350,645	5,466
売上原価		(196,803)	(204,399)	(7,596)
売上総利益		148,376	146,246	(2,130)
販売費及び一般管理費	2	(110,252)	(106,328)	3,924
その他の営業収益		3,251	3,115	(136)
その他の営業費用		(2,766)	(3,588)	(822)
営業利益	1	38,609	39,445	836
金融収益		336	354	18
金融費用		(1,462)	(1,740)	(278)
持分法による投資利益		530	604	74
税引前四半期利益		38,013	38,663	650
法人所得税		(13,389)	(10,507)	2,882
四半期利益		24,624	28,156	3,532
四半期利益の帰属				
親会社の所有者		24,169	27,774	3,605
非支配持分		455	382	(73)
四半期利益		24,624	28,156	3,532
1株当たり四半期利益				
基本的1株当たり四半期利益 (円)		49.03	56.36	
希薄化後1株当たり四半期利益 (円)		48.99	56.33	

(3) 要約四半期連結包括利益計算書

	前第1四半期 連結累計期間 (自 2017年1月1日 至 2017年3月31日)	当第1四半期 連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年3月31日)	増減
	百万円	百万円	百万円
四半期利益	24,624	28,156	3,532
その他の包括利益			
純損益に振り替えられることのない項目			
その他の包括利益を通じて公正価値で測定 される金融資産の純変動	146	(476)	(622)
確定給付負債(資産)の純額の再測定	29	(12)	(41)
持分法適用会社におけるその他の包括利益 に対する持分	56	(95)	(151)
純損益に振り替えられることのない項目合計	231	(583)	(814)
純損益に振り替えられる可能性のある項目			
在外営業活動体の換算差額	(5,942)	(13,271)	(7,329)
持分法適用会社におけるその他の包括利益 に対する持分	(22)	(159)	(137)
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	(5,964)	(13,430)	(7,466)
税引後その他の包括利益	(5,733)	(14,013)	(8,280)
四半期包括利益	18,891	14,143	(4,748)
四半期包括利益の帰属			
親会社の所有者	18,702	14,195	(4,507)
非支配持分	189	(52)	(241)
四半期包括利益	18,891	14,143	(4,748)

(4) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2017年1月1日 至 2017年3月31日)

	親会社の所有者に帰属する持分						
	資本金	資本剰余金	自己株式	新株予約権	その他の資本の構成要素		
					在外営業活動 体の換算差額	キャッシュ・ フロー・ヘッ ジの公正価値 の変動額の有 効部分	その他の包括 利益を通じて 公正価値で測 定される金融 資産の純変動
百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	
2017年1月1日残高	85,424	107,648	(57,124)	911	(29,761)	4	7,025
四半期利益	-	-	-	-	-	-	-
その他の包括利益	-	-	-	-	(5,692)	(5)	202
四半期包括利益	-	-	-	-	(5,692)	(5)	202
自己株式の処分	-	-	48,887	(32)	-	-	-
自己株式の取得	-	-	(8)	-	-	-	-
配当金	-	-	-	-	-	-	-
その他の資本の構成 要素から利益剰余金 への振替	-	-	-	-	-	-	(5)
その他	-	-	-	-	-	-	-
所有者との取引等合計	-	-	48,879	(32)	-	-	(5)
2017年3月31日残高	85,424	107,648	(8,245)	879	(35,453)	(1)	7,222

	親会社の所有者に帰属する持分					
	その他の資本の構成要素			合計	非支配持分	資本合計
	確定給付負債 (資産)の純 額の再測定	合計	利益剰余金			
百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	
2017年1月1日残高	-	(21,821)	565,715	679,842	11,621	691,463
四半期利益	-	-	24,169	24,169	455	24,624
その他の包括利益	28	(5,467)	-	(5,467)	(266)	(5,733)
四半期包括利益	28	(5,467)	24,169	18,702	189	18,891
自己株式の処分	-	(32)	(48,681)	174	-	174
自己株式の取得	-	-	-	(8)	-	(8)
配当金	-	-	(23,657)	(23,657)	(117)	(23,774)
その他の資本の構成 要素から利益剰余金 への振替	(28)	(33)	33	-	-	-
その他	-	-	-	-	(35)	(35)
所有者との取引等合計	(28)	(65)	(72,305)	(23,491)	(152)	(23,643)
2017年3月31日残高	-	(27,353)	517,579	675,053	11,658	686,711

当第1四半期連結累計期間(自 2018年1月1日 至 2018年3月31日)

	親会社の所有者に帰属する持分						
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素			
				新株予約権	在外営業活動 体の換算差額	キャッシュ・ フロー・ヘッ ジの公正価値 の変動額の有 効部分	その他の包括 利益を通じて 公正価値で測 定される金融 資産の純変動
百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	
2018年1月1日残高	85,424	107,980	(9,593)	731	(21,540)	4	8,490
四半期利益	-	-	-	-	-	-	-
その他の包括利益	-	-	-	-	(12,993)	(3)	(571)
四半期包括利益	-	-	-	-	(12,993)	(3)	(571)
自己株式の処分	-	-	258	(45)	-	-	-
自己株式の取得	-	-	(12)	-	-	-	-
株式に基づく報酬取引 配当金	-	91	-	-	-	-	-
その他の資本の構成要 素から利益剰余金への 振替	-	-	-	-	-	-	(5)
その他	-	-	-	-	-	-	-
所有者との取引等合計	-	91	246	(45)	-	-	(5)
2018年3月31日残高	85,424	108,071	(9,347)	686	(34,533)	1	7,914

	親会社の所有者に帰属する持分					
	その他の資本の構成要素			合計	非支配持分	資本合計
	確定給付負債 (資産)の純 額の再測定	合計	利益剰余金			
百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	
2018年1月1日残高	-	(12,315)	634,885	806,381	12,983	819,364
四半期利益	-	-	27,774	27,774	382	28,156
その他の包括利益	(12)	(13,579)	-	(13,579)	(434)	(14,013)
四半期包括利益	(12)	(13,579)	27,774	14,195	(52)	14,143
自己株式の処分	-	(45)	(144)	69	-	69
自己株式の取得	-	-	-	(12)	-	(12)
株式に基づく報酬取引 配当金	-	-	-	91	-	91
その他の資本の構成要 素から利益剰余金への 振替	-	-	(27,595)	(27,595)	(108)	(27,703)
その他	12	7	(7)	-	-	-
所有者との取引等合計	-	-	-	-	(28)	(28)
2018年3月31日残高	12	(38)	(27,746)	(27,447)	(136)	(27,583)
2018年3月31日残高	-	(25,932)	634,913	793,129	12,795	805,924

(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年1月1日 至 2017年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年3月31日)
	百万円	百万円
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	38,013	38,663
減価償却費及び償却費	13,089	14,543
受取利息及び受取配当金	(268)	(288)
支払利息	299	292
持分法による投資損益(益)	(530)	(604)
有形固定資産及び無形資産除売却損益(益)	531	1,258
営業債権及びその他の債権の増減額(増加)	28,329	11,214
棚卸資産の増減額(増加)	(6,301)	(7,863)
営業債務及びその他の債務の増減額(減少)	(578)	(17,344)
退職給付に係る負債の増減額(減少)	(321)	(260)
その他	(36,979)	(8,362)
小計	35,284	31,249
利息の受取額	260	284
配当金の受取額	1,732	2,064
利息の支払額	(237)	(172)
法人所得税等の支払額	(33,642)	(32,273)
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,397	1,152
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	(5,231)	(8,655)
定期預金の払戻による収入	256	7,649
有形固定資産の取得による支出	(21,090)	(21,221)
無形資産の取得による支出	(1,359)	(1,320)
企業結合による支出	-	(44,164)
その他	(1,031)	229
投資活動によるキャッシュ・フロー	(28,455)	(67,482)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(減少)	(0)	70
長期借入による収入	10,000	-
長期借入金の返済による支出	(10,018)	(18)
支払配当金	(22,234)	(26,101)
非支配持分への支払配当金	(103)	(84)
その他	(56)	(813)
財務活動によるキャッシュ・フロー	(22,411)	(26,946)
現金及び現金同等物の増減額(減少)	(47,469)	(93,276)
現金及び現金同等物の期首残高	303,026	343,076
現金及び現金同等物に係る為替変動による影響	(1,712)	(4,652)
現金及び現金同等物の四半期末残高	253,845	245,148

(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

1. セグメント情報

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、当社の取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。なお、取締役会は、売上高及び営業利益を主要な指標として、各セグメントの業績評価を行っております。

当社グループは、コンシューマープロダクツ事業部門を構成する4つの事業分野（化粧品事業、スキンケア・ヘアケア事業、ヒューマンヘルスケア事業、ファブリック&ホームケア事業）及びケミカル事業部門の5つの事業を基本にして組織が構成されており、各事業単位で、日本及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社グループは、「化粧品事業」、「スキンケア・ヘアケア事業」、「ヒューマンヘルスケア事業」、「ファブリック&ホームケア事業」及び「ケミカル事業」の5つを報告セグメントとしております。

当社グループは、2018年1月1日付の組織変更に伴い、当第1四半期連結会計期間より、従来「ビューティケア事業」、「ヒューマンヘルスケア事業」、「ファブリック&ホームケア事業」及び「ケミカル事業」の4区分としていた報告セグメントを、「化粧品事業」、「スキンケア・ヘアケア事業」、「ヒューマンヘルスケア事業」、「ファブリック&ホームケア事業」及び「ケミカル事業」の5区分に変更しております。前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

各報告セグメントの主要な製品は、以下のとおりであります。

報告セグメント		主要製品	
コンシューマー プロダクツ事業	化粧品事業	化粧品	カウンセリング化粧品、セルフ化粧品
	スキンケア・ヘアケア事業	スキンケア製品	化粧石けん、洗顔料、全身洗剤
		ヘアケア製品	シャンプー、リンス、ヘアスタイリング剤、ヘアカラー、メンズプロダクツ
	ヒューマンヘルスケア事業	フード&ビバレッジ製品	飲料
サニタリー製品		生理用品、紙おむつ	
パーソナルヘルス製品		入浴剤、歯みがき・歯ブラシ、温熱用品	
ファブリック&ホームケア事業	ファブリックケア製品	衣料用洗剤、洗濯仕上げ剤	
	ホームケア製品	台所用洗剤、住居用洗剤、掃除用紙製品、業務用製品	
ケミカル事業	油脂製品	油脂アルコール、油脂アミン、脂肪酸、グリセリン、業務用食用油脂	
	機能材料製品	界面活性剤、プラスチック用添加剤、コンクリート用高性能減水剤	
	スペシャルティケミカルズ製品	トナー・トナーバインダー、インクジェットプリンターインク用色材、香料	

(2) 報告セグメントの売上高及び業績

前第1四半期連結累計期間 (自 2017年1月1日 至 2017年3月31日)

	報告セグメント							調整額 (注1)	要約四半期 連結財務諸表 計上額
	コンシューマープロダクツ事業					ケミカル 事業	合計		
	化粧品 事業	スキンケア・ ヘアケア 事業	ヒューマン ヘルスケア 事業	ファブリック &ホームケア 事業	小計				
百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	
売上高									
外部売上高	58,449	77,079	71,618	69,623	276,769	68,410	345,179	-	345,179
セグメント間の内部 売上高及び振替高 (注2)	-	-	-	-	-	8,190	8,190	(8,190)	-
売上高合計	<u>58,449</u>	<u>77,079</u>	<u>71,618</u>	<u>69,623</u>	<u>276,769</u>	<u>76,600</u>	<u>353,369</u>	<u>(8,190)</u>	<u>345,179</u>
営業利益 (又は損失)	<u>(2,333)</u>	<u>10,529</u>	<u>10,502</u>	<u>11,959</u>	<u>30,657</u>	<u>7,989</u>	<u>38,646</u>	<u>(37)</u>	<u>38,609</u>
金融収益									336
金融費用									(1,462)
持分法による投資利益									530
税引前四半期利益									<u>38,013</u>

(注1) 営業利益 (又は損失) の調整額(37)百万円には、セグメント間取引に係る棚卸資産の調整額等の消去のほか、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。

(注2) セグメント間の内部売上高及び振替高は、主に市場価格や製造原価に基づいて算出しております。

当第1四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年3月31日)

	報告セグメント							調整額 (注1)	要約四半期 連結財務諸表 計上額
	コンシューマープロダクツ事業					ケミカル 事業	合計		
	化粧品 事業	スキンケア・ ヘアケア 事業	ヒューマン ヘルスケア 事業	ファブリック &ホームケア 事業	小計				
百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	
売上高									
外部売上高	60,566	79,414	69,457	69,788	279,225	71,420	350,645	-	350,645
セグメント間の内部 売上高及び振替高 (注2)	-	-	-	-	-	8,270	8,270	(8,270)	-
売上高合計	<u>60,566</u>	<u>79,414</u>	<u>69,457</u>	<u>69,788</u>	<u>279,225</u>	<u>79,690</u>	<u>358,915</u>	<u>(8,270)</u>	<u>350,645</u>
営業利益 (又は損失)	<u>771</u>	<u>9,097</u>	<u>10,938</u>	<u>11,405</u>	<u>32,211</u>	<u>7,324</u>	<u>39,535</u>	<u>(90)</u>	<u>39,445</u>
金融収益									354
金融費用									(1,740)
持分法による投資利益									604
税引前四半期利益									<u>38,663</u>

(注1) 営業利益 (又は損失) の調整額(90)百万円には、セグメント間取引に係る棚卸資産の調整額等の消去のほか、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。

(注2) セグメント間の内部売上高及び振替高は、主に市場価格や製造原価に基づいて算出しております。

2. 販売費及び一般管理費

販売費及び一般管理費の内訳は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年1月1日 至 2017年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年3月31日)
	百万円	百万円
広告宣伝費	19,782	17,610
販売促進費	14,365	12,043
従業員給付費用	36,808	37,377
減価償却費	2,213	2,255
償却費	1,126	1,617
研究開発費	14,345	14,551
その他	21,613	20,875
合計	110,252	106,328

(7) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当社の特定子会社であった花王カスタマーマーケティング(株)は、2018年1月1日付で実施した花王グループカスタマーマーケティング(株)を存続会社とする吸収合併により消滅会社となりました。そのため、当第1四半期連結会計期間より、連結の範囲から除外しております。

(8) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。